

学習指導要領		都立南平高校 学カスタンダード
聞くこと	ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	<p>文化の違う人々の生活・風俗などについて興味をもち、「聞くこと」の言語活動を深めるのに必要な文化的歴史的背景について理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の話す態度・声の大きさなどに注意しながら、平易な文章や対話を聞いてその音声イメージを記憶することができる。</li> <li>・発話のタイプ、文脈、内容等を考え、相手の目的を推測できる。</li> <li>・リズムやイントネーションなどに表れる話し手の意図や気持ちをとらえることができる。</li> <li>・平易な文脈や対話の内容に関連した背景的知識を思い起こすことができる。</li> <li>・未知の単語や表現があっても、ディスコースマーカー（as a result, in other words, on the contrary, yet, besides, however 等）に注意しながら、単語や内容・展開を推測することができる。</li> <li>・文章中に理解できないところがあっても、あきらめずに前向きに聞き続けることができる。</li> <li>・聞いた文章中の意味のまとまりを意識し、聞いた順番に理解することができる。</li> <li>・トピック・センテンスに注意しながら、70語程度の長さの簡単な文章について、要点をつかむことができる。</li> <li>・事物に対する簡単な紹介や対話などを聞いて、メモをとるなどして、情報を整理しながら聞き続けることができる。</li> <li>・70語程度の簡単な対話や文章を聞いて、事実と意見を区別して理解することができる。</li> <li>・文章・対話の場面や状況、相手の表情などを踏まえて、話し手の意図を把握し、質問や指示などに適切に応じることができる。</li> <li>・英語で聞いたり話したりしたことのある話題ならば、相手の言うことを理解し、必要なときに自分から内容を確認することができる。</li> </ul>

学習指導要領		都立南平高校 学カスタンダード
読むこと	<p>イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化の異なる人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動を深めていくために必要な文化的背景について理解できる。</li> <li>・教科書よりやや平易なサイドリーダーを1年間で3冊以上読める。</li> <li>・英和辞典を活用しながら、700語程度以上の教科書の文章を読んで、概要や要点をとらえることができる。</li> <li>・文化的知識を用いたり、論理展開を考えたりすることで、文中に未知の語句も推測しながら読み続けることができる。</li> <li>・教科書の文章を意味の区切りに注意しながら、聞き手に的確に伝わるように明瞭に音読することができる。</li> <li>・教科書の文章全体を、170wpmの速度で音読することができる。</li> <li>・教科書の文章を読んで、つながりを示す語句（ディスコースマーカー）の知識に注意しながら、英語の論理展開を理解できる。</li> <li>・教科書及びサイドリーダーなどの文章を読んで、事実と意見などを区別して内容を理解し、自分なりの意見や感想を論理的に基礎的な英語で表現することができる。</li> <li>・段落中で、トピック・センテンスとサポーティング・センテンスの関係を理解し、各段落の構成と文章全体の流れを理解できる。</li> <li>・抽象的な内容（例えば言語の多様性、生命倫理など）を含む文章を読み取るための語句や、文法事項を理解できる。</li> <li>・英字新聞やインターネットを活用し、必要な情報を読み取ることができる。</li> </ul>

学習指導要領		都立南平高校 学カスタンダード
話すこと	ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の文章の内容を理解した後に、英問英答の質問を聞いて、本文中の表現などを用いながら、答えることができる。</li> <li>教科書で扱った内容について、既習の語句や表現を応用して、その概要や自分の知っている英語でまとめ相手に伝えることができる。</li> <li>話し合いや発表で必要となる基本的な語句や表現、文法事項を身に付けることができる。</li> <li>ペアやグループで、幅広い話題について、テーマを決めて、自分で収集した具体例等を示し、論理的に話し合ったり意見を交換したりすることができる。</li> <li>既習の語句を用いて、社会の出来事、ニュース等について話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。</li> <li>自分の意見と他人の意見、調べたことなどをしっかりと区別して、自分の意見を論理的・効果的に発表しようとする意欲をもつことができる。</li> <li>簡易な表現で、既習の語句や表現を効果的に用いて、必要な情報や自身の考えを相手に伝えることができる。</li> <li>英語らしい発音・イントネーション・リズムに気を付け、聞き手を意識して、場面や状況、声の音量、目配り、速度、ジェスチャーに工夫して積極的に話そうとすることができる。</li> </ul>
書くこと	エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</li> <li>事実と意見などを区別して、既習の文法事項・語句・表現を適切に用いて書くことができる。</li> <li>内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書く。</li> <li>トピック・センテンスやサポーターティング・センテンスの構成を考え、つながりを示す語句を適切に用いながら、論理の展開が明確な文章を書くことができる。</li> </ul>

学習指導要領	都立南平高校 学カスタンダード
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」の言語活動を深めるために文化の異なる人々の日常生活、風俗習慣など、必要な文化的背景について理解する。</li> <li>・必要に応じて英和辞書などを活用して書く。</li> <li>・教科書の文章について、120語程度の要約文を書くことができる。</li> <li>・教科書の文章や、聞いたり読んだりした内容について、120～240語程度で感想や意見を述べることができる。</li> <li>・間違ふことを恐れずに、学んだことや経験したことに基づき、幅広い話題について120～240語程度の文章を書くことができる。</li> <li>・手紙や電子メールの書き方などの知識を身に付け、意見交換したり、話をまとめたりすることができる。</li> <li>・自分で書いた文章を読み直し、表現の曖昧さをなくしたり、語句や文法などの誤りを正したりして、論点が明確で、読み手に分かりやすい文章を書くことができる。</li> </ul>